

昭和二十九年六月一日受領  
答弁 第二一一号

(質問の 二二一)

内閣衆質第二〇号

昭和二十九年六月一日

内閣総理大臣 吉田 茂

衆議院議長 堤 康次郎 殿

衆議院議員並木芳雄君提出交通に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員並木芳雄君提出交通に関する質問に対する答弁書

- 一 中央線から武蔵野競技場へ常時直通運転することは技術的に困難であり、又三鷹―武蔵野競技場間を折返し運転するためには、三鷹駅改良に莫大な工費を要するので早急に実現することは困難である。
- 二 京王帝都電鉄、西武鉄道両社より各二路線の免許申請があつたが、その概要は次のとおりである。

イ 西武鉄道武蔵関、武蔵境間

キロ程

四、八キロメートル

動力

電気

軌間

一、〇六七メートル

建設費

一億二千八百万円

申請年月日

昭和二十四年十月十日

ロ 西武鉄道関前橋、田無町間

キロ程 四、六キロメートル

動力 電気

軌間 一、〇六七メートル

建設費 一億二千万円

申請年月日 昭和二十五年十一月十三日

ハ 京王帝都電鉄吉祥寺、東久留米間

キロ程 九、一キロメートル

動力 電気

軌間 一、〇六七メートル

建設費 二億九千五百九十三万九千円

申請年月日 昭和二十三年十二月二十日

二 京王帝都電鉄富士見ヶ丘、三鷹間

キロ程

五、九キロメートル

動力

電気

軌間

一、〇六七メートル

建設費

六億四千七百九十七万円

申請年月日

昭和二十九年一月二十二日

右答弁する。